

小学校 低 学年＜ 2－（ 1 1 ）＞

学 年	2年	時 間	学級活動（帰りの会等の短学活で） 「強風だ！」2年	時 期	6月～7月 または適時	時 数	15分～20分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>強風がもたらす大規模な災害によって、自分の身の回りに起こる災害の危険を知る。</li> <li>強風災害から、自分の命を守るための方法を知り、安全に行動することができるようにする。</li> </ul>						
資料・準備	スライド(文科省・防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)低学年・気象災害「大雨だ！強風だ！かみなりだ！」)、ワークシート(文科省CD-ROM内)						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 強風による気象災害について学習することを 知る。</p> <p>◇登下校時や遊びの行き帰りのときなどで、激しい 風で吹き飛ばされそうになったことはありませんか。</p>	<p>○これまでに経験した強風について話し合わせ、 それが気象災害につながることを説明する。</p> <p>○地域で最近起こった強風があれば思い出させ る。登下校時や遊びの行き帰り等、具体的な場 面で思い出させる。なかなか出ない場合、教師 が引き出す。</p>
展 開	<p>2 強風によってどんな危険があるか、どのように 身を守ればよいか考える。</p> <p style="text-align: center;"><b>スライド3-1を提示</b></p> <p>◇絵を見て、強風が吹いているとき、どんなところ が危ないかワークシートを使って考えてみま しょう。危ないと思うところに丸を付け、班のみんな で話し合ってみましょう。</p> <p>◇なぜ、そこに丸をつけたのか発表してください。</p> <p>◇それでは、確かめてみましょう。</p> <p style="text-align: center;"><b>スライド3-2を提示</b></p> <p>◇けがをしないために、自分だったらどうしま すか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用もないのに外に出ない</li> <li>・一緒にいる大人の指示に従う</li> <li>・落ちてくるもの、飛んでくるものに気を付ける</li> <li>・(雨と風のととき) かっぱ(レインコート)を着る</li> </ul>	<p>○スライドの場面絵から、危険な状況や場所を想 像させる。</p> <p>○準備した白板(移動白板)か白模造紙(黒板に 貼る)にスライドを映す。(書き込みが可能)</p> <p>○ワークシートを配布し、記入させる。</p> <p>○ワークシートの絵の危険な部分を○で囲んで から班で話し合い、自分の考えと人の考えとを 比べて意見を言うことができるよう準備する。</p> <p>○班代表で発表する児童には、スライド絵の危険 箇所を指示棒等さし示して理由も発表させる。</p> <p>○代表がさし示した危険箇所に、丸印をつける。</p> <p>○次のスライドを見せて、主な危険を説明する。 場面は同じなので同じ白板か白模造紙に映す。</p> <p>○スライドを見せて、主な危険を説明する。</p> <p>○スライドの絵をヒントに、どんな身の守り方 があるか意見を引き出すようにする。</p> <p>☆ワークシートへの記入を通して、予想される危険な 事態について理解できたか。</p> <p>☆気象災害が自分の身の回りで起こることを理解でき たか。</p>
ま と め	<p>3 身を守るために大切なことを確認する。</p> <p>◇強風のとき、どのようなことが大切なのか考 えてみましょう。</p> <p style="text-align: center;"><b>スライド3-3を提示</b></p>	<p>○強風のときの対応を確認する。</p> <p>○気象の変化に気付いた場合は、安全に行動でき るように指導する。</p> <p>☆安全に行動する姿勢が身に付いたか。</p>

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	
協 力 団 体	